



—全国キャラバン隊来町—
 みんなですすめる交通安全をテーマに、母親の立場から全国を回っているキャラバン隊が、9月10日に当町にやってきました。一人一人が交通ルールを守って、悲惨な交通事故を避けましょう。

悲惨な交通事故

をゼロに



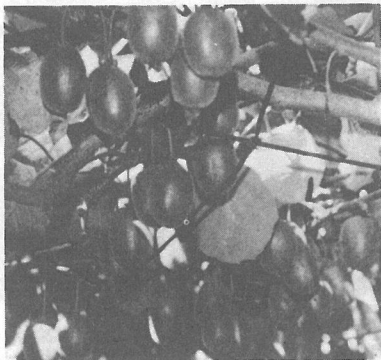
いつまでもお元気で

敬老の日に先がけて、町では85歳以上のお年寄り129人を訪問し、町と県からの記念品を贈って、長寿をお祝いしました。(9/12)

老人ホームで、町最高齢の川口たつさん(98歳)に記念品を手渡す実川助役

これはみごと キウイ2千個

中国原産の果実「キウイ」が、北清水の田崎一宇さん宅の6本の木に約2千個もなりました。このキウイ、甘ずっぱい味が女性向きと言われ、収穫時の11月が今から楽しみです。(9/17)



カメラ・レポート まちの話題

5年ぶりの“豊作”に 農家ニッコリ

55年から冷害が続いていましたが、今年は真夏日の連続で、作柄は5年ぶりに上々。コンバインの音も軽快に響き、ずっしり重いモミ袋の山に、農家の皆さんの顔はほころんでいました。(9/5、栗山で)



私のひとこと



敬老の日を迎えて、私も年寄りになりつつあることを、ふと思ひ起こした。

店を営んでいるので、道を通るお年寄りをよく見かけるが、特におじいちゃんたちが、いかにもつまらなそうで、暗い感じに見えてならない。

若いころから懸命に生活を支えてきたが、今は若い人たちがそれに代わっているのだから、自分のやるべきことができない、やりたいことができない、といった寂しさからか、また若い人たちへの期待が大き過ぎる、それが満たされない不満から来るあきらめなのか。

私も間もなくこうなってしまうのかと、真剣に考えてみた。例えば「俺さえ黙ってれば、

新しい老人像をめざして

岡田利保(東町)

我慢すればいいのだ」というあきらめばかりでは、当然毎日がつまらないものになってしまう。しかし、ものは考えようで、若い者に合わせて、足りないところを陰から補ってやるんだ、という気持ちに切り替えたらどうだろう。

中心になつて働く仕事はなくとも、年寄りの立場として、やることはいくらでもある。

あるはず。「一家にあって俺はまだ大事な人間なんだ」という自覚があれば、それが生きがいとなって、また新たな勉強意欲につなげていくのではないだろうか。

私も、今まで見てきたような年寄りになるかも知れないが、時代が変われば年寄りも変わってよいのではないかと思う。

この時代に生きる新しい年寄りになるため、また老後の生活をより張り合ひのあるものにするため、これから年寄りとして、私なりに、もっと勉強努力を重ねなければと、自分に言い聞かせている。

